

2021（令和3）年度 地域経営学部の入学者選抜について（予告）

2021（令和3）年度地域経営学部の入学者選抜については、2019年3月27日付で本学HPにおいて、一部、予告しました。ここでは、その後、決定しましたことを公表します。

1. 一般選抜における大学入学共通テストの記述式問題の活用

国語

記述式問題（80字～120字）の配点は20点を満点とし、段階別評価のAに20点、Bに15点、Cに10点、Dに5点、Eに0点を加点します。マークシート式の成績（200点満点）に記述式の成績（20点満点）を加点し、合計220点満点を200点満点に換算した点数を「共通テスト国語の点数」とします。

数学①（数学Ⅰ、数学Ⅰ・A）

マークシート式問題と一体で出題されて配点されることから、従来のマークシート式と同様の取扱いとします。

2. 一般選抜における大学入学共通テストの英語の配点

大学入学共通テストの英語について、リーディング100点、リスニング100点の配点とし、合計200点満点を「共通テスト英語の点数」とします。

3. 一般選抜における調査書の活用（主体性等評価）

合否ラインに志願者が同点で並んだ場合、調査書を判断材料として活用します。調査書については、高等学校における日常的な学習や活動についての記載内容を評価します。文章の表現や分量は評価とは無関係です。

4. 学校推薦型選抜における調査書・推薦書の活用

学校推薦型選抜は、従来通り、小論文100点と面接50点の総合評価により合否判定します。面接方法は個別面接とし、配点50点に調査書・推薦書の評価を含めることとします。

5. 英語の資格・検定試験の取扱いについて

入学者選抜において、英語の資格・検定試験を利用しません（出願要件として用いることや加点等はありません）。

2019年3月27日付で本学HPにおいて、資格・検定試験と「大学入学共通テスト」の英語の試験結果の両方を利用した入学者選抜を実施しますと公表していました。しがしながら、2019年11月1日、文部科学省から、英語認定試験活用のための「大学入試英語成績提供システム」の2020年度からの導入を見送ることが発表され、それをふまえて、入学者選抜における英語の資格・検定試験の利用を見送ることといたしました。

以上